

朝日中学校だより特別号

笑顔あふれるあたたかい学校

令和2年11月13日発行



【教育目標】 進んで学び、豊かな心をもった、たくましい生徒

学校評価にご協力いただきありがとうございました！

1学期末の学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。ぜひ、ご覧いただき、今後ともご支援とご協力をお願いいたします。なお、ご報告が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。以下、アンケート項目と百分率(%)を示しました。

【保護者アンケート】

- ①・・・よくあてはまる ②・・・だいたいあてはまる
③・・・あまりあてはまらない ④・・・まったくあてはまらない

	質 問 項 目	①	②	③	④
1	お子さんを朝日中学校に通わせて良かったと思う。	50	45	4	1
2	学校は、運営方針(自律する生徒を育む)をしっかり伝えていると思う。	34	58	7	1
3	学校の先生は、分かりやすい授業に努めていると思う。	25	66	8	1
4	お子さんは、自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることが、できるようになってきていると思う。	16	63	20	1
5	学校は、1日1時間以上の家庭学習定着に向け、生徒の取組を支援していると思う。	26	58	14	2
6	学校は、生徒の悩みに親身に対応していると思う。	29	59	9	2
7	学校は、居心地のよい学年・学級づくりに努めていると思う。	32	61	6	1
8	家庭では、子どもが勉強できる環境作りに努めていると思う。	11	65	20	4
9	家庭では、基本的なしつけが身に付くように育てていると思う。	15	72	12	1
10	家庭では、毎日朝食をしっかり食べていると思う。	67	24	8	1

本校では各質問項目の目標値を、①と②の合計(肯定的評価)が90%を超えることといたしました。結果から、10項目中5項目で目標値を超えました(青く表示した部分)。

[☆高い評価をいただいた項目]

肯定的評価の割合が高い質問項目は、1723の順でした。特に「1 お子さんを朝日中学校に通わせて良かったと思う」では「①よく当てはまる」の回答率が50%に上り、①②を合わせて95%に達しました。しかし、昨年7月は①の割合が65%でした。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校行事等が縮小された影響もあるかもしれません。保護者の皆様と生徒の皆さんのニーズを十分に把握し、低下の要因を分析して、今後も学校運営の改善に努めて参ります。

朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://asahi-j.murakami.ed.jp>

11月からアドレスが変更になりました。



令和2年度 学校運営方針 ～自律する生徒を育てる～

[★やや低い評価となった項目]

「4 生徒は自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることができるようになってきていると思う」と「5 学校は1日1時間以上の家庭学習の定着に努めていると思う」については、肯定的評価と「①よく当てはまる」の割合がやや低くなりました。この傾向は昨年も見られました。保護者の皆様と一層の連携を図り、自律した学習習慣の確立を目指します。なお、保護者の皆様から5は評価しにくいという声を多くいただきました。次回以降、項目から外すこととしました。

[今後の取組について]

1 学習指導について

本校では、令和3年度からの学習指導要領完全実施に伴い、「主体的・対話的で深い学び」に向け、教科の見方・考え方を大切にして全職員で授業改善を進めています。また、ICT教育の推進の一環として、今年度中に配備される予定の一人一台のタブレット端末を活用した授業を、県立教育センター指導主事等のご支援をいただき、先行的に国語・数学・理科で実施して参りました。今後も、生涯にわたり能動的に学ぶ生徒を育成するため、自分の考えや意見を説明し、文章で書く力を身に付けることを大切にしていきます。

質問項目5「1日1時間以上の家庭学習定着に向けての支援」については、単元ごとのAST(昨年度平均53回の実施)や、終学活での家庭学習プランニング、単元別整理テスト(実力テスト)前の学習計画表等を活用しています。宿題で生徒の学習を管理するのではなく、1～2週間先の予定と照らして、自律的に学ぶ生徒の育成を支援しています。生徒アンケートでは、「1時間以上の家庭学習に取り組んだ」割合は85%でした。昨年度の全国学力・学習状況調査で全国平均を20ポイント上回りました。

2 学級・学年経営について

1・2学年では学年担任制を実施し、複数の学年職員で生徒を支援し、生徒同士が受容的で互いに支え合う学級・学年経営を推進しています。おかげで、居心地の良い学年・学級であると肯定的な評価をする生徒の割合は全校で94%を超えました。今後も生徒一人一人に丁寧に寄り添い、悩みの解消に努めて参ります。

3 その他

自律した生徒の育成を重点とした学校運営方針に基づき、保護者の皆様には、ASTや学年担任制等について、ご理解・ご支援をいただきました。おかげさまで、自律した学習習慣・生活習慣を身に付けた生徒が確実に増えています。今後も、子どもたちが主体的・能動的に学ぶことができるための学習環境の整備を、学校と家庭が連携・協働して行い、さらに成長へつなげたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

保護者の皆様からのご質問にお答えします！

【学校への応援メッセージ等】

- 毎週のようにテストがあることは大変良いと思います。(2年保護者)
- 朝日中学校は私も卒業した良い学校です。今後も子どもが成長していけるよう願っています。よろしくお願いいたします。(1年保護者)

【ご意見・要望等】

- 宿題、自学を家庭で取り組む姿があまり見られません。声を掛けていますが、本人は「宿題はない」といいます。全くしない訳ではありません。時々ではありますが勉強しているなあという時もあります。あまり毎日問いかけてもケンカの原因になるので、我が家では「見守る」という姿勢です。本人が理解して行動しているなら見守ることも大切な一つだと思っています。(1年保護者)



→ 子育ての大切な視点を紹介していただき、ありがとうございます。本校では、自律的に学ぶ生徒の育成と家庭学習習慣の確立を目指して、昨年度から定期テストを廃

令和2年度 学校運営方針 ～自律する生徒を育てる～

止し、教科毎に単元テストASTを実施しています。この取組が新潟日報社から「特色ある教育実践 優良賞」として評価されました。ASTの予定は、生徒に配付する他、保護者の方がいつでも確認できるよう、HPにも掲載しています。また、「デイリーライフ」には家庭学習を行う時間や学習内容など計画を立て、取組の様子を担当と毎日やりとりしています。行った家庭学習についても自主学習ノートを用いて、その成果を報告してもらい、励ましの言葉をかけています。生徒が大学受験に臨む頃は、従来のように記憶量が問われる形式から、資料を読み解いて自分の意見を述べる形等へ大きく様変わりします。短い範囲でテストを行うことで、平常時の学習習慣の定着を図るとともに、自分の苦手な箇所を早く見つけて復習し、これまでの知識と関連付けながら、1つ1つの学びを確かなものにしてほしいと考えています。

○ASTが導入され、どの程度の学力がついているのか目安が分かりにくいので、明確化してくださると受験に対する不安等も軽減されるのでありがたい。(2年保護者)

→ 令和元年度に3回行われたWeb配信診断問題の結果では、1～3学年で、のべ23教科中、19教科で県平均を上回る結果でした。今年度7月に昨年度6月のWeb配信診断問題を使い、県平均と比較したところ、1～3学年で、のべ9教科中、6教科で県平均以上となりました。AST導入以前と比べると数値的な改善が見られます。また、4月末に行ったNRT標準学力検査では、特に3年生の社会・理科・英語は、2年生だった時の値を上回りました。今後も実施方法や内容の改善を行いながら、生徒の夢の実現に向けて支援して参ります。ご家庭でも、毎日の積み重ねを確実にを行うよう、お子様を励ましていただきたいと思えます。

○自由すぎてどうしていきたいのか？どこに向かっていくのか？よく分からない。それが自律ということなのでしょうか。(2年保護者)

○体操着登校については再検討していただきたい。(1年保護者)

→ 今年の生徒総会場で、学校生活の見直しを行いました。たくさんの意見が出て、可能なことから順に学校生活のきまりを見直すことにしました。その中の一つに、盛夏時の体操着登校がありました。本校では、きまりの正当性を説明する合理的な理由がないものは廃止か、変更すべきであると考えています。昨年度から熱中症対策を理由に、夏季限定で体操着の裾をハーフパンツの外に出すことを認めました。学校は民主主義を学ぶ場です。勿論、規律や規範意識の醸成、社会性の育成も大切です。これから生徒が活躍する社会は、様々な国の人と折り合いをつける社会です。そこには、同じであることよりも、多様性(ダイバーシティ)を認めることが重要です。その中で大切なことは生徒が安心して生活できることです。そこで、学校生活の中には複数の選択肢を設けました。女子のスラックスもその例です。生徒は自分で考えて、自分の収まりどころを見つけます。本校は開校以来、通学カバンは自由です。その良い点を少し拡大したいと考えています。何でも規則で縛るのではなく、生徒自身が何が大切で、どうすれば良いのかを自分で考えて行動して欲しいのです。それが自律です。これは新学習指導要領で目指す学びの姿である、主体的・対話的で深い学びに通じます。自由には責任も伴います。そうしたバランスも身につけて欲しいと願っています。

○「学校に行きたくない」という言葉を何度も聞いています。(1年保護者)

○いじめを見逃さないでほしい。(3年保護者)

→ 一人一人の悩みに丁寧寄り添うことが本校職員の基本方針です。ご指摘のような事実があったことをご詫言申し上げます。今まで以上に毎日の生徒への声かけや、内省ノートでの点検、毎月の学校生活調査、終学活に生徒指導部で情報交換を実施する中で、生徒の変化をいち早く捉え、学校組織として対応するよう努めて参ります。また、職員には、いじめを見抜く感性を磨くよう一層研修に努めます。最近、LINE等のSNSのやりとりで、教職員がいじめを把握しにくい状況も発生しております。お気づきの点は何なりとお知らせいただけますよう、お願いいたします。(文責 校長)

NRT(全国標準学力調査)の結果より

研究主任 皆川 俊勝

5月8日、11日に行われたNRTの結果の概要をお知らせします。今年度は臨時休校が明けてすぐに行ったため、前年度に学習した内容を忘れてしまっている生徒が多かったようです。学習は1日、1日の努力の積み重ねです。生徒が他者と関わる活動を意図的に取り入れ、生徒一人一人が主体的に学ぶことができる授業を目指して、これからも教師の授業力の向上を図っていきます。

【1年生の結果について】

国語の偏差値平均は全国よりやや高く、特に、中領域「適切に話し合うこと」の数値が高かったです。大きく落ち込んでいる分野は見られませんでした。社会の偏差値平均は全国より低い結果でした。「歴史」の結果が非常に低く、定着が不十分である分野が多かったです。「都道府県の名称と位置」はこれからの学習でも重要なので、早めに覚えることが必要です。数学の偏差値平均は全国と同等の結果でした。大きく落ち込んでいる分野はありませんでしたが、分数の学習が苦手なことがわかりました。理科の偏差値平均は全国より低い結果でした。目に見えないものを想像して考える分野の数値が低く、特に「月と太陽」の学習が苦手なことがわかりました。小学校の教科書などを使ってどんな学習をしていたか思い出す機会が必要です。

☆定着が不十分な分野については、機を見て復習を行っていきます。特に、本時の学習に必要な知識については学び直しの機会を設けたり、ICT機器を活用したりするなど、生徒の学力の向上につなげられるようにしていきます。

【2年生の結果について】

国語の偏差値平均は全国よりやや高く、特に、中領域「話し手の意図を考えて聞くこと」の数値が高かったです。「語句や表現技法についての理解」の定着が不十分でしたが、その他は良好な結果でした。社会の偏差値平均は全国より低い結果でした。「歴史」の学習は定着が不十分でしたが、地理の学習は得意なようです。数学の偏差値平均は全国より低い結果でしたが、「資料の散らばりと代表値」は平均を上回っていました。計算が必要な分野の学習が苦手な傾向があります。理科の偏差値平均は全国より低い結果でした。特に、昨年度前半に学習した内容の定着が不十分でした。受験用教材等を活用して復習をしていくことが必要です。英語の偏差値平均は全国と同等で、落ち込みのある分野も見られませんでした。

☆計算が必要な分野（特に小数や分数の計算）の学習が苦手な傾向があります。受験用教材等を活用しながら苦手分野を自覚させ、復習に力を入れていきます。本時の学習に必要な知識については学び直しの機会を設けながら、生徒の力を伸ばしていけるよう努力します。

【3年生の結果について】

国語の偏差値平均は全国をやや下回りましたが、「論理的な構成を考えて話すこと」以外の分野に大きな落ち込みはありませんでした。社会の偏差値平均は全国平均より低く、各分野においても平均して低い傾向にありました。受験用教材等を活用しながら、1つ1つの内容について理解を深めていくことが必要です。数学の偏差値平均は全国より低い結果でしたが、「確率」はよくできていました。理科の偏差値平均は全国平均より低い結果でしたが、昨年度の結果と比較すると改善が見られています。得意な分野、不得意な分野がはっきりしている傾向があります。英語の標準偏差値は全国をやや下回りましたが、大きな落ち込みは見られませんでした。

☆受検まであと4ヶ月です。配付された結果をこれからの学習に生かせるよう指導します。放課後学習会や土曜朝日学習会を活用しながら、生徒の夢が実現できるよう、全職員で支援していきます。